

# What is there

## コメをみる ※ コメにみる 山本 雄教展

2013年05月21日[火] — 06月02日[日] 11:00~19:00 \*月曜休廊・最終日18:00まで



【広報画像01】

米と箸

2012年 125×184cm 鳥の子紙、パール顔料、水干絵具、墨  
©YAMAMOTO YUKYO

### ご案内

ギャラリー・パルクでは、2013年5月21日[火]から6月2日[日]まで、山本雄教による個展「What is there: コメをみる ※ コメにみる」を開催いたします。

成安造形大学日本画クラスを卒業、2013年に京都造形芸術大学大学院美術表現専攻日本画領域を修了した山本雄教(やまもと・ゆうきょう/京都・1988~)は、これまでに日本画の画材・技法だけにとらわれない作品制作を続けています。

山本はおもに日本画材を使用し、点字ブロックや1円玉、電柱やエスカレーターなど、日常見慣れた対象を取り上げることで、そこに当たり前でありながらも不可思議な光景を出現させます。絵画的なイリュージョンを過度に盛り込む事無く、対象に向ける眼差しの確度・距離を違える事で描き出される画面には、私たちの「見る・知る」世界の少し違った姿が描き出されます。

本展ではそのテーマに「米」を取り上げ、パール顔料などの光沢性を帯びた画材により線描で描かれた作品を中心に構成されます。鑑賞する時間帯によっても変化するその作品を通して「コメを見る」ことで、鑑賞者は普段食べている米に思いを馳せる、あるいは全く関係のない何かを「コメに見る」かもしれません。

山本作品を通じて、日常の視界に潜む多様な視覚体験をご体験ください。

# What is there

## コメをみる※コメにみる 山本雄教展

2013年05月21日[火] — 06月02日[日] 11:00~19:00 \*月曜休廊・最終日18:00まで



【広報画像02】

rainbow rice (部分)

2012年 60.6×72.7cm 鳥の子紙、パール顔料

©YAMAMOTO YUKYO

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、[info@galleryparc.com](mailto:info@galleryparc.com)迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 What is there

コメをみる※コメにみる 山本雄教展

出品作家 山本雄教

会期 2013年5月21日[火] — 6月2日(日) 11:00~19:00 \*月曜休廊・最終日18:00まで

主催 Gallery PARC

料金 無料

展示内容 【絵画(日本画)】

2013年「京都府美術工芸新鋭展 2012京都美術・工芸ビエンナーレ」公募部門大賞(京都文化博物館)受賞など、注目を集めつつある美術家・山本雄教による新作を中心とした個展。おもに日本画材を用い、日常の見慣れた事物を異なる目線で捉えた絵画作品およそ7点を展示。

会場 Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

[Tel&Fax] 075-231-0706 【Mail】 info@galleryparc.com 【HP】 http://www.galleryparc.com

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。  
三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

問い合わせ Gallery PARC [グランマーブル ギャラリー・パルク] (正木・永尾)

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ] 2F

[Tel&Fax] 075-231-0706 【Mail】 info@galleryparc.com

# What is there

## コメをみる ※ コメにみる 山本雄教展

2013年05月21日[火] — 06月02日[日] 11:00~19:00 \*月曜休廊・最終日18:00まで

### 【作家略歴】

### 山本雄教 YAMAMOTO Yukyo

- 1988 京都生まれ  
 2010 成安造形大学 日本画クラス 卒業  
 2011 成安造形大学 研究生 修了  
 2013 京都造形芸術大学大学院修士課程ペインティング領域 修了

### 【個展】

- 2010 「連続していく対象」(ギャラリーはねうさぎ/京都)  
 「米騒動」(成安造形大学コンテンポラリーギャラリー/滋賀)  
 2011 「どこへ行く」(ギャラリーはねうさぎ/京都)  
 「し・てん」(gallery PARC/京都)

### 【おもなグループ展】

- 2007 「今-toki-展」(gallery maronie/京都'08,'09,'10,'11,'12)  
 2009 「HOPEWORK」(ギャラリーCASO/大阪)  
 2010 「♡あめりか」(ギャラリーはねうさぎ/京都)  
 「第2回 Kyoto Current」(京都市美術館別館・高島屋京都店)  
 「輪-成安造形大学日本画クラスグループ展」(むろまちアートコート/京都)  
 2011 「K2展vol.4」(京都市美術館別館'12,'13)  
 「画心展vol.8」(むろまちアートコート/京都'12)  
 「表面張力」(ARTZONE/京都)  
 「ZOU-日本画or Not-」(ギャラリーCASO/大阪)  
 「十一の海」(SPACE NIO/東京)  
 「黎明展」(ギャラリー-i/京都)  
 2012 「日本画家のオブジェ展」(gallery maronie/京都)  
 「画心展selection vol.2」(佐藤美術館/東京、康耀堂美術館/長野)  
 「fitting room」(Gallery Ort Project/京都)  
 「SPURT2012」(Galerie Aube/京都)  
 「紙技百藝2012」(雅景錐/京都、時折/名古屋、HIGURE17-15 cas/東京)  
 「ZOU-日本の絵」(gallery maronie/京都)  
 「ASIA&RICE 2012」(ソリアートセンター/韓国チョンジュ)  
 「現代アート展」(大津百町館/滋賀)  
 2013 「贈展」(ギャラリー恵風/京都)  
 「画心展selection vol.3」(佐藤美術館/東京)

### 【賞歴】

- 2010 「成安造形大学卒業制作展」日本画賞 (京都市美術館)  
 2012 「京都府美術工芸新鋭展 2012京都美術・工芸ビエンナーレ」入選 (京都文化博物館)  
 「ART AWARD NEXT2012 Vol.2」審査員賞 (東美アートフォーラム/東京)  
 「公募 日本の絵画2012」入選 (永井画廊/東京)  
 2013 「京都府美術工芸新鋭展 2012京都美術・工芸ビエンナーレ」公募部門大賞 (京都文化博物館)  
 「美術新人賞デビュー2013」準グランプリ(ギャラリー和田・フジ平画廊/東京)

### 【ステートメント】

茶碗に入った一粒の米、財布に入った一円玉、そんなすぐそこにあるものこそが、実際はあらゆるものにつながっている。

「一枚の葉っぱが手に入ったら、宇宙全体が手に入るでしょう。」これは日本画家の小倉遊亀が師の安田鞞彦から受けた言葉です。

これは描く対象に無心で接することを説いた言葉ですが、私はその本来の意味とともに、葉っぱという小さな対象が宇宙という遙かにスケールの大きなものにつながっていくところに、視界が一気に開けるような感覚を覚えました。

一枚の葉っぱが足下に落ちていたとしても、見ようとしなければそれはただの葉っぱでしかなく、あるいは葉っぱですらありません。しかしひとたびそこに目を向ければ、そこには宇宙を見るかのような世界が広がっている。安田鞞彦の言葉から、私はそのような思いを持ちました。

私はそんな広がりや、日常生活の中で見落としてしまいがちな些細なものから見つけたいと思っています。

例えば一粒の米から、一円玉から、自分の暮らす社会や世界全てにつながるような感覚を得られたら、それはまさに目の覚めるような出来事です。

ミクロの世界が、様々な問題、疑問、不安、面白さ、希望を含んだマクロなものに変わっていく、そんな体験をすることができる作品を私は生み出したい。

一粒の米が手に入ったとき、宇宙全体は手に入るだろうか。

山本雄教

### 【展覧会について】

今回出品する作品は、主に米を線描で描いたものです。

線描で描かれた米は、パール顔料という光沢性のある画材を使っているため、角度や距離によって見え方が大きく変わります。

その見え方の変化はあくまで視覚的な問題ですが、しかしその角度や距離というのは私たちの生活に対する眼差しともリンクするのではないのでしょうか。

普段みているものを違う角度や距離からみている、そのことによってみえてくるものは違っていきます。それは普段食べている米に思いを馳せることかもしれませんが、もしくは米とは全く関係ない何かかもしれません。

そのような様々な「みる」ことがこの展覧会から生まれればよいと思います。

# What is there

## コメをみる ※ コメにみる 山本 雄 教展

2013年05月21日[火] — 06月02日[日] 11:00~19:00 \*月曜休廊・最終日18:00まで



【広報画像03】

### どこへ行く-竹林図的図-

2011年 180×582cm 鳥の子紙、墨、鉛筆、ボールペン

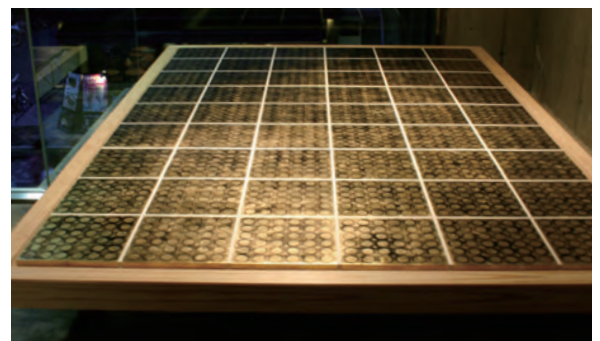
「し・てん」@Gallery PARC ©YAMAMOTO YUKYO



【広報画像04】

### どこへ行く-竹林図的図-(部分)

「し・てん」@Gallery PARC ©YAMAMOTO YUKYO



【広報画像05】

### golden blocks

2011年 278×185.5cm 鳥の子紙、洋箔、墨

「し・てん」@Gallery PARC ©YAMAMOTO YUKYO



【広報画像07】

### 悲しむ男

2013年 162×130cm 高知麻紙、アルミ箔、鉛筆、一円玉

「2012年度京都造形芸術大学大学院修了展」 ©YAMAMOTO YUKYO



【広報画像06】

### (左から) 悲しむ男 翻弄される男 微笑む男

2013年 (左から)162×130cm、280×224cm、130×162cm 高知麻紙、アルミ箔、鉛筆、一円玉

「2012年度京都造形芸術大学大学院修了展」 ©YAMAMOTO YUKYO